



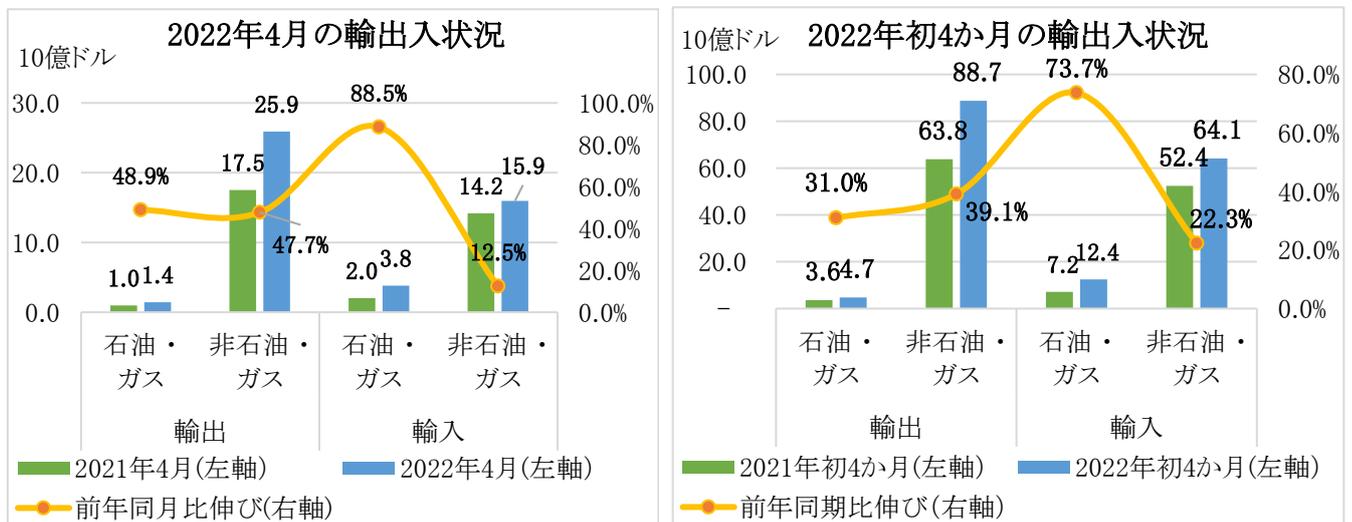
<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2022年05月31日

インドネシア記録的な4月の貿易黒字

インドネシア中央統計局(BPS)によれば、2022年4月、同国の輸出額は273億米ドルに達し、前年同期比(同月比)47.8%増であった。石油製品と非石油製品合計の輸出伸び率は約48%と非常に高かった。一方輸入は同22.0%増の198億米ドルになり、そのうち石油・ガスの輸入は88.5%伸び、非石油・ガスは12.5%伸びた。



出所:インドネシア中央統計局(BPS)

2022年初4か月累計における輸出額は935億米ドルであり、前年同期比(年初4か月)38.7%増になった。最も強い伸びはニッケルとその製品で、同343.7%増であったが、総金額に最も寄与したのは鉱物性燃料等で、同78.1%増の141億米ドルに達した。同輸入額は766億米ドルであり、同28.5%伸びた。以上により、2022年初4か月累計のインドネシアの貿易金額は同33.9%増の1,700億米ドルになった。

インドネシアは2022年4月単月において76億米ドルの貿易黒字を記録した。これはインドネシアにおける記録的水準である(データが得られる2008年1月以降で最高)。2020年5月以降、同国は24か月連続で貿易黒字を記録している。輸出が伸びている理由の主なものは、商品価格の上昇とインドネシア政府による製品(ヤシ油、インドネシアが世界の供給の約60%を占める製品)の輸出制限の解除である。

